

ふくい社会福祉

7
No.382

温故知新 ～一途に社協道～

本は身体の栄養剤

じっぷじっぷ 代表取締役社長
清水 祥三さん(福井市)

小さい頃から本が好きで、身近にいつも本がある環境で育った私にとって、親の体調が悪く福井へのUターンをきっかけに、東京歌舞伎座の大道具を辞めて福井で本屋を始めたのは自然な流れだったのかもしれませんが。

30年以上前、当時児童書の専門店が首都圏を中心にでき始めた頃で、当然福井では手に入らない絵本も多く、子どもを取り巻く本の環境に地域差があることが腹立しく思いました。

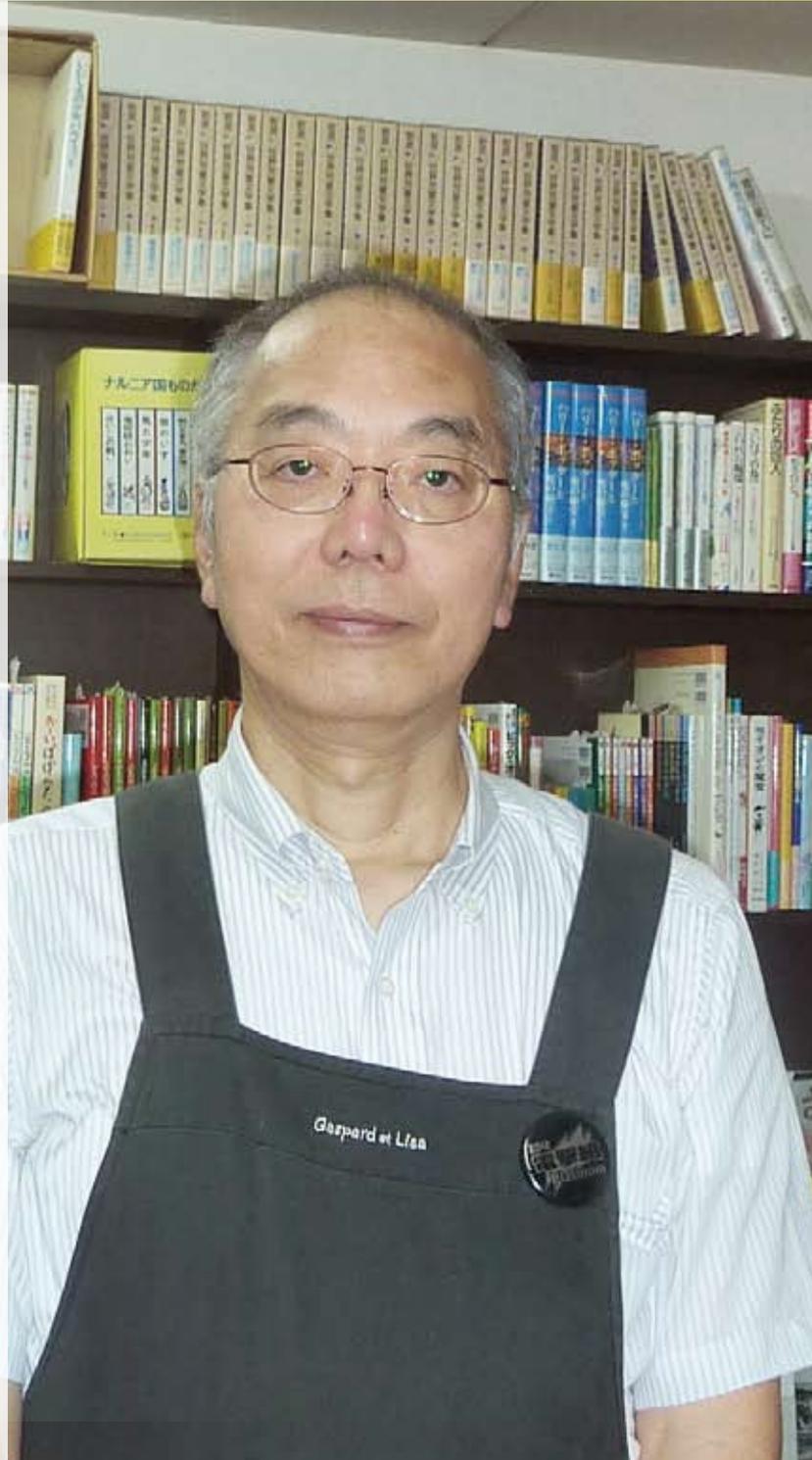
ですから、おもしろい本や感動する絵本を、福井の子どもや大人たちが手にとれる、というのが店づくりの基本になりました。店内は絵本を中心に品揃え、ゆっくりと手にとり、たくさんの中から自分だけの絵本を見つけてもらえるような環境を整えています。納得のいく絵本を見つけるまで時間をかけて選んでほしいと思っています。

本の迷宮のような店は、親子連れから保育士さん、先生方や年配の方まで幅広い層の方が来店されるようになりました。

読書が子どもたちの勉強や、その後の人生にどんな影響を与えるかはわかりませんが、本を読むことによっていろんな経験や人生を擬似体験することができます。それが知識や表現力を高め、想像力を豊かにすることにつながるように思います。

店名の「じっぷじっぷ」の由来ですが、実は、私が小学4年生の頃、学校の図書室で出会った「ジップジップと空とぶ円ばん」から名づけたものです。しかし、当時のお気に入りの一冊だったにも関わらず、店名を考える時まで一度も頭に浮かぶことはありませんでした。不思議なことに命名の瞬間にだけそのフレーズが浮かんできたのです。

いつも思っていることですが、出会った本から得た感動は、身体の栄養として血や肉に溶け込んで、必要な瞬間に備えて出番を控えているのかもしれませんがね。



表紙の企画について

様々な人たちの目線から「地域のつながり、人とのつながり」に関するメッセージをいただいています。



第3回赤い羽根全国ミーティングin小浜が開催されました。

じぶんの町を良くする会議

去る6月13日(水)～15日(金)に「第3回赤い羽根全国ミーティングin小浜」がホテルアーバンポルト等の周辺施設において開催されました。

全国の共同募金会関係者320人が、共同募金の役割や可能性などについてセミナーや分科会が行なわれました。



「オープニング」では日本NPOセンター常務理事・事務局長 田尻佳史氏が進
行を務め、
社会福祉法
人紫水の郷
理事長(元
福井県社会
福祉協議会
総務課長・
福井県共同
募金会事務
局長)北

岑武夫氏、小浜市議会議長(元小浜市社会福祉協議会副会長)池尾正彦氏、中央共同募金会副会長 小林和弘氏の4名に「共同募金のこれまでとこれから」と題して数々の共同募金改革を進め、今後どうなっていくかを語っていただきました。

北岑理事長は、共同募金会の設立当初を「戦後、社会福祉事業法ができた時、社会福祉協議会と共同募金会は一体となって民間の福祉活動を進めると示された」と振り返り、社会福祉協議会の役割についても「地域の福祉問題を見つけて、地域のみならずと解決していくために福祉計画を作るというコミュニティ・オーガニゼーションを担っている」と話され、共同募金については、そういう役割を応援するための民間財源として「地域を良くするお金だ」ということをもつと見せることが大切」と話されました。

池尾議長からは、共同募金や社会福祉協議会の担当者へのメッセージとして「社会の不条理に対して『これでいいんか!』と思うところが大切」と話され、ハンセン病患者を『小浜に帰そう』と職員のみとりが働きかけたことが運動になっていった事例を紹介し「(偏見や差別を目的の当りにして)心や命、言葉が伝われば社会は、変わっていくのではないかと共同募金改革に必要な心構えを話されました。

小林副会長からは、共同募金が福祉課題、生活課題の解決を支援する1つのツールである事を市民にもっと知ってもらふ必要があるとし、「日本を何とかしたい」という思いを大切に、市民を巻き込んだ募金活



35th福井マラソン チャリティーランナー大募集 ～走ることが、障害者の応援になります～

- 開催日
2012年10月7日(日)
- 参加費
ハーフ・10km:3,500円、5km:3,000円
- 締め切り
8月20日
- 参加申込み
福井県共同募金会事務局
〒910-0026 福井市光陽2丁目3-22
TEL:0776-22-1657
平日:08:30～17:15(土・日・祝祭日を除く)

福井県共同募金会を通じて福井マラソンを申し込むと500円がチャリティとなります。



動の盛り上がりという好循環につなげていきたい」と期待を話されました。

最後に、田尻局長から、それぞれの登壇者の話は「本質を見極める事の大切さ」であったとし「開催地が小浜なので、オバマにちなんで、議論するだけではなくチェンジしていきますましよう」と全体会を締めくくりました。

この後、参加者は共同募金の基礎や募金、助成のあり方、効果的な広報など5つのテーマに分かれたセミナーや分科会で講演やグループ討議を通じ共同募金の理解を深めました。

あなたのまちの
民生委員児童委員

平成24年度 福井県民児協事業方針が決まる

共に助け合う 地域づくりをめざして

平成24年6月5日、サンドーム福井において「平成24年度福井県民生委員児童委員協議会総会」が開催され、24年度の事業計画・予算が承認されました。

県内の民生委員児童委員1,813名は、民生委員制度創設90周年活動強化方策「広げよう地域に根ざした思いやり」行動宣言に基づ



65単位民児協の代表者が出席して開催された総会

き、一人ひとりの生活課題を受け止め、相手の気持ちに寄り添った相談支援活動を展開しています。

総会では、地域福祉の推進役である民生委員

児童委員は、地域住民の「絆」を深め、共に助け合い支え合える地域づくり活動を推進していくことを確認し合いました。

総会後は、「組織の強化と活動の活性化に向けて」をテーマに、参加者179名がグループ討議を行いました。「定例会をより活発で充実した内容にするための工夫」や「個人情報保護と関係者との情報共有のあり方」等について、積極的な意見交換がなされていました。



地域ぐるみでつながりの大切さを学ぶ

福井県社協では、昨年度、「福井県地域支え合い体制づくり事業」補助金を活用し、地域とのつながりや支え合いの大切さを学ぶ「地域見守りフレンズ育み講座」を企画し、今年度から県内の市町社協で順次開催しています。

この講座は、中学生以上の県民を対象に実施するもので、一人暮らし世帯の増加や地域での人間関係の希薄化で自助・共助の力の低下が懸念されている中、改めて地域の一員として、近隣での日常的な気づきをつないでいく「地域見守りフレンズ」としての関わりの啓発を行うものです。

震災の経験から学ぶ

平成23年3月11日に発生した東日本大震災を契機に、日本全体が生活のあり方や人とのつながり、絆の大切さを考えるようになっていきます。

講座は、災害時にご近所での助け合いが大きな役割を發揮した事例や近隣同士の共感や声かけが震災直後の不安な状況で支えになったと語る



「ご近所で助け合う力(ご近助力)」
を育くむために
県内社協で「地域見守りフレンズ育み講座」を開催

被災者の手記のほか、受講者が自分と地域との関わりを振り返り、ワークシヨップを通じて、一人ひとりをみんなで支える地域づくりの必要性を共有するプログラムとなっています。

1万人のつながり(受講)をめざす

県社協では、既に県内の市町社協の職員を講座の指導者として養成し、受講者用のリーフレットやワークシヨップで使用するツール、受講証としての「フレンズ缶バッジ」を作成しています。今年度からの3年間で受講者1万人のつながりづくりを目標に、随時出前講座等を展開していきます。



地域見守りフレンズ育み講座のリーフレット

市町社協会長・事務局長のご紹介

地域の第一線で住民の支え合い活動を推進する県内社協の会長、事務局長をご紹介します。

東日本大震災以降、地域のつながりや絆の大切さが改めて認識されている今、県内17の市町社協と県社協がネットワークとそれぞれの持ち味を活かして、福井の地域福祉をリードしていきます。

No.	市町名	会 長	事務局長
1	福井市	吉 田 敏 貢	三ツ屋 建 治
2	敦賀市	村 上 哲 雄	増 門 昭 彦
3	小浜市 ※	山 岸 博 之	豊 永 真 誠
4	大野市	金 森 閱 治	松 田 勉
5	勝山市	佐 野 瑞 圓	笠 井 みつ子
6	鯖江市	齋 藤 多 久 馬	竹 内 秀 博
7	あわら市	丸 子 要	北 浦 博 憲
8	越前市	藤 谷 家 也	川 渕 仁 哉
9	坂井市	青 木 甫	副 角 利 幸
10	永平寺町	永 善 信 行	加 藤 裕 治
11	池田町	江 端 龍 男	辻 本 悦 男
12	南越前町	齋 藤 市 左 衛 門	細 川 泰 司
13	越前町	宮 崎 泰 治	山 下 三 紀 代
14	美浜町	窪 清 行	秋 山 義 嗣
15	高浜町	内 谷 周 一	村 松 夕 花 江
16	おおい町	荒 木 茂 夫	齊 藤 洋 樹
17	若狭町	塚 本 新 一	田 中 文 明
18	福井県	清 川 忠	品 谷 義 雄

※ 小浜市社協は、「会長」を「理事長」に読み替える。

関係団体 会長・副会長のご紹介

県民が、いつまでも“その人らしい生活”を送れるよう、社会のしくみづくりや福祉サービスの質の向上に取り組む福祉関係団体の会長および副会長をご紹介します。

県社協は、こうした多くの関係者と共に良質な福祉サービスを継続的・安定的に提供できる基盤づくりと地域福祉の推進に取り組んでいます。

団 体 名	役 職	氏 名
福井県民生委員児童委員協議会	会 長	清 川 忠 忠
	副 会 長	清 水 武 士
	副 会 長	松 村 信 子
福井県共同募金会	会 長	清 川 忠 忠
	副 会 長	村 上 哲 雄
	副 会 長	梅 田 正 昭
福井県母子寡婦福祉連合会	会 長	岡 崎 和 恵
	副 会 長	瞿 曇 隆 子
	副 会 長	平 等 智 恵
	副 会 長	広 瀬 秀 子
福井県老人クラブ連合会	会 長	坂 野 良 治
	副 会 長	堀 内 英 治
	副 会 長	池 田 禎 夫
	副 会 長	長 谷 川 あ い 子
	副 会 長	小 林 豊
福井県心身障害児者福祉団体連合会	会 長	藤 本 澄 子
	副 会 長	納 村 亮
	副 会 長	富 田 毅 矩 男
福井県身体障害者福祉連合会	会 長	志 摩 進
	副 会 長	吉 村 春 男
	副 会 長	夔 田 俊 一
	副 会 長	小 山 尊
福井県聴力障害者福祉協会	副 会 長	丸 山 継 男
	副 会 長	丸 山 継 男
	副 会 長	河 井 秋 男
福井県手をつなぐ育成会	理 事 長	栗 田 幸 雄
	副 理 事 長	藤 田 卓 美
	副 理 事 長	長 谷 川 武 雄
福井県社会福祉施設経営者協議会	会 長	白 藤 昭 武
	副 会 長	豊 永 雄 勝
	副 会 長	田 原 薫
	副 会 長	木 村 洋 子
福井県老人福祉施設協議会	会 長	木 村 洋 子
	副 会 長	皆 川 恭 英
	副 会 長	三 田 村 康 行
	副 会 長	岡 山 行 雄

※名簿は敬称略で掲載しております。

団 体 名	役 職	氏 名
福井県デイサービスセンター協議会	会 長	小 川 弥 仁
	副 会 長	屋 敷 大 作
	副 会 長	川 崎 郁 子
福井県地域包括・在宅介護支援センター協議会	会 長	池 端 幸 彦
	副 会 長	吉 田 新 内 雄
	副 会 長	吉 田 龍 雄
福井県ホームヘルプサービス事業者協議会	会 長	山 原 薫
	副 会 長	山 内 ま ゆ ひ
福井県知的障害者福祉協会	会 長	木 間 幸 生
	副 会 長	本 多 興 右 衛 門
	副 会 長	高 村 昌 裕
福井県身体障害者児援護施設連絡協議会	会 長	山 口 利 明
	副 会 長	五 十 嵐 研 治 郎
	副 会 長	荒 木 博 文
福井県社会就労センター協議会	会 長	朝 日 正 幸
	副 会 長	大 館 嘉 昭
	副 会 長	岡 田 政 則
	副 会 長	嶋 田 忠 次
福井県児童養護施設連絡協議会	会 長	木 越 直 昭
	副 会 長	渡 辺 一 幸
	副 会 長	渡 辺 一 幸
福井県社会福祉協議会保育部会	部 会 長	澤 田 夏 彦
	管 理 会 会 長	丹 尾 信 一
	管 理 会 副 会 長	藤 光 真
	管 理 会 副 会 長	前 川 徹
	保 育 士 会 会 長	山 口 恵 子
	保 育 士 会 副 会 長	高 田 清 子
	保 育 士 会 副 会 長	平 木 美 紀 子
福井県民間保育園連盟	会 長	竹 内 文 憲
	副 会 長	澤 田 夏 彦
	副 会 長	藤 光 真
	副 会 長	菅 原 ひ ろ み
	副 会 長	内 藤 俊 穂
福井県セルフ振興センター	理 事 長	山 崎 宇 左 衛 門
	副 理 事 長	下 中 登

平成24年7月1日現在

福祉サービスの質の向上のためのたゆまぬ取り組み

～「足羽東保育園」、「若草保育園」における第三者評価結果概要～

このほど、「足羽東保育園」、「鉄道弘済会福井保育所（若草保育園）」が福祉サービス第三者評価を実施しました。今回、保育の向上に日々取り組んでいる両園の主な評価結果および施設のコメントをご紹介します。なお、詳細は、本会ホームページに掲載していますので是非、ご覧ください。

足羽東保育園

○福祉サービスの基本方針と組織について

園独自の「職員チャレンジ」等を使用し、現場の声を反映した事業計画を策定し、職員の「意識改革」や「やる気」につなげている。「業務改善シート」を用い、職員から「創意・工夫・アイデア」を広く求め、業務の効率化や改善につなげている。

○組織の運営管理について

職員個々が目標を設定し管理するシートを用いた人事考課を行い、業務に対するチャレンジ精神を高揚している。また、「資格等級フレーム」により、職員の経験年数や職階に応じた研修や資格取得などの目標設定が法人内で確立している。

○適切な福祉サービスの実施について

理念から事業計画達成までの仕組みが明示され、園長を中心とする職員全員の共通認識のもと、PDCAサイクルに基づく保育実践がなされている。

○保育所固有のサービス内容について

園児一人ひとりの生活習慣の定着や発達の状況が確認できる仕組みをはじめ「保健年間計画」等に基づく健康管理の体制がとられ、症例ごとの対応を記載した健康資料や事故安全防災マニュアルなどを整備している。

《評価結果に対する関係者のコメント》

この度の第三者評価受審にあたりましては、ご家族の皆様や評価機関の皆様のご指導ご協力に、大変感謝しております。第三者評価に取り組むことは、自己点検から改善点が把握でき、サービスの向上に向けた第一歩だと考えています。当園は今回で2回目の受審となりましたが、前回の受審から、特に「職員の質」に重点を置き全職員で取り組み、また、マニュアルも業務に沿ったもので活用しやすいものを見直しました。受審で得たことは、PDCAが基本であり、質の向上のためにはとても大切なプロセスだと改めて実感しました。また、評価は、評価項目の着眼点に沿って、確認しながら進めていくことの大切さも学びました。今後も、職員一丸となり、より質の高い保育を目指していきたいと思っております。



鉄道弘済会福井保育所（若草保育園）

○福祉サービスの基本方針と組織について

保育所の理念等を明文化し、所内各所に掲示するほか所長は理念の理解を促進するための資料を作成し、職員、保護者に具体的に説明している。また、「GOGOKAIZEN」という仕組みを整え、職員自らによる保育や職場環境の向上に向けた取組を推進している。

○組織の運営管理について

地域の児童数の動向等経営環境を的確に把握し、法人本部と保育所の共通認識のもと運営方針等を定めている。また、電算システムにより利用児童数に応じた適時適切な職員確保がなされている。

○適切な福祉サービスの実施について

保育実践に関するもののほか様々なマニュアルが整備され、職員への周知はもとより所内各所に掲示している。また、児童の成長の様子等を明記した個人記録はもとより、保育活動全般に関する記録を適切に管理している。

○保育所固有のサービス内容について

児童の成長に応じた指導計画に基づく実践がなされ、未満児は毎日、3歳以上児については必要に応じ連絡帳へ様子を記入するとともに、毎日保育室入口のホワイトボードに保育の様子を記し、保護者との情報共有に努めている。

《評価結果に対する関係者のコメント》

今回、3度目の第三者評価受審でした。3年に1回という期間の中で、指針改訂に伴う評価項目の変更があり、また、職員も入れ替わるなど、あらためて定期的な受審することの大切さを実感しました。この事業に全職員で取り組むことで必然的に職員一人ひとりの意識が高まります。今回の評価結果を真摯に受け止め、今後も保育の質の維持・向上に努めていきたいと思っております。



身近な地域で福祉探し

ふくしジョブ・ミニパーク

～地域型 ミニ面談会 & 講座～



身近な地域で福祉の仕事をお探しの方、資格があるのでもう一度働きたい方、そんなあなたを今、必要としています。事業所の方と直接面接できますので、ぜひご参加ください！

参加対象

- (1) 福祉職の関心がある方、福祉の職場へ就職を希望する方等（求職者等）
- (2) 各地区の職員採用予定のある社会福祉施設等（求人者等）

内容

- (1) 職員採用予定のある社会福祉施設・事業者との個別面談コーナー
- (2) 福祉の仕事・資格に関する相談コーナー
- (3) ハローワークコーナー
- (4) あなたに合う仕事探し応援コーナー

参加費無料

坂井地区	平成24年 7月5日(木)		ふくしジョブ・ミニパークin坂井 いきいきプラザ霞の郷 多目的ホール 坂井市丸岡八ヶ郷2-1-7-1 TEL (0776) -68-5060
奥越地区	平成24年 7月13日(金)	13:00	ふくしジョブ・ミニパークin奥越 多田記念大野有縁会館 305・306 大野市天神町1-19 TEL (0779) -65-8766
丹南地区	平成24年 8月9日(木)	15:30	ふくしジョブ・ミニパークin丹南 あいあい鯖江 多目的ホール 鯖江市水邊町2丁目30-1 TEL (0778) -52-1121
福井地区	平成24年 8月22日(水)		ふくしジョブ・ミニパークin福井 福井県産業会館 本館展示場 福井市下六条町103番地 TEL (0776) -41-3611

～あなたに合う仕事探し応援コーナー～

ふくしの仕事まめわり講座 13:00～13:30
(福祉の仕事の種類、仕事内容、魅力などを分かりやすく解説します。)

事業所担当者からのPRタイム 13:30～14:30
(担当者から、事業所の概要、現場の雰囲気などを聞くことができます。)

※各事業所担当者との個別面談は13:30～15:30となります。

個人情報取扱

本事業において取得した個人情報については、福井県社会福祉協議会の個人情報保護に関する基本方針に基づき、社会福祉事業等への就業促進を図る目的のみ適正に取り扱います。

主催 社会福祉法人 福井県社会福祉協議会、福井県
福井労働局、福井・武生・大野・三国公共職業安定所

協力 社会福祉法人 敦賀市社会福祉協議会(嶺南福祉人材バンク)
一般社団法人 福井県社会福祉士会

問合せ先

社会福祉法人 福井県社会福祉協議会
福井県福祉人材センター
〒910-8516 福井市光陽 2-3-22
TEL (0776) 21-2294 FAX (0776) 24-4187

福祉のお仕事

福祉のお仕事 検索



←携帯サイト

平成 24 年度福井県介護支援専門員実務研修受講試験のお知らせ

1 試験日時	平成24年10月28日(日) 午前10時～12時※ ※終了時間は所有資格等により異なります。
2 試験会場	福井県立大学 福井キャンパス (吉田郡永平寺町松岡兼定島4-1-1)
3 受験資格	次の①、②、③のいずれかを満たす方 ① 保健・医療・福祉に関する資格等に基づく業務に5年以上従事していること ② 一定の相談援助業務または介護等の業務に5年以上従事していること ③ 一定の介護等の業務に10年以上従事していること
4 受験申込方法および受付期間	所定の受験申込書および試験案内に示す必要書類を受付期間内に①持参または②郵送により提出してください。 受付期間：平成24年7月23日(月)～8月3日(金) ① 持参の場合 受付時間：午前8時30分～午後5時15分(土、日曜日除く) 受付場所：県社会福祉センター 3階老人談話室 ② 郵送の場合 郵送方法：簡易書留郵便に限ります(受付期間内の消印有効)。
5 試験案内・受験申込書の配布	試験案内および受験申込書は次のとおり配布します。 配布期間：平成24年7月2日(月)～8月3日(金) 配布場所：各市町介護保険担当課、坂井地区広域連合介護保険課、各市町社会福祉協議会、県長寿福祉課、各健康福祉センター、県社会福祉センター ※郵送による配布は行いません。
6 合格後	試験合格者を対象に行われる実務研修の修了後に介護支援専門員として登録されます。

詳細については試験案内をご確認ください。

【試験事務局・お問合せ先】福祉の人づくり支援課 (TEL 0776-21-2294)

社会福祉法人の皆様へ

社会福祉法人が補助金を受け行う公共工事の前払金保証制度について

(1) 前払金について

民間の建設工事では、着工時に手付金を支払うことが慣例とされていますが、国や地方公共団体等が発注する公共工事においても、請負金額の一部を前払金として支払うのが一般です。これは、前払金の支払により工事の速やかな着工が図られるとともに、工事の円滑な施工と品質の向上を期待できるというメリットがあるためです。

(2) 前払金保証について

国や地方公共団体等が前払金を支払う場合には、「公共工事の前払金保証事業に関する法律」(昭和27年法律第184号)の規定に基づき、国土交通大臣の登録を受けた保証事業会社の「前払金保証」を必ず付すこととされています。「前払金保証」を付すことにより、発注者は請負者の責に帰すべき事由により工事請負契約を解除した場合、保証証書に記載された保証金額を限度として、過払額(前払金額と出来高との差額)の弁済を保証事業会社から受けることができ、過払いとなるリスクを払拭することができます。

社会福祉法人が国や地方公共団体から補助金を受けて施設整備を行う場合も、前記法律にいう公共工事に該当し(昭和39年建設省告示第1333号6項該当)、保証事業会社の「前払金保証」が可能であり、請負者に前払金を支払う場合は、本保証制度の活用が有益です。

※参考 福祉医療機構福祉貸付の施設整備資金融資をご利用になる場合、原則、敷地及び融資対象の建物に抵当権を設定することが資金交付を行う条件となっております。従来、敷地が借地であり担保提供ができない場合、融資対象の建物が完成し、その建物に抵当権を設定するまでは、資金交付を行っていませんでしたが、「工事履行保証保険(保証事業会社の保証も含まれる)」に加入している場合は、融資対象の建物が完成する前でも、資金需要に合わせて資金交付を行うことが可能となりました。

【本制度についてのお問合せは福祉サービス支援課まで TEL 0776-24-2347】



介護出前講座

あなたの地域で介護講座を開催しませんか？
自治体・老人会・ボランティア団体で！男性介護者の方も大歓迎！
介護のプロがあなたの地域へ出かけ、介護する人も介護される人も、
負担の少ない楽しく介護法をお教えます。

テーマ	内容
家庭介護 (講義・実技)	＊腰痛にならないための体の起こし方 ＊移動・移乗の方法 ＊食事の工夫やお世話のしかた ＊着替えのしかた ＊排せつのお世話のしかた ＊体の拭き方、洗髪、手と足の洗い方 ＊介護をする人の心がまえ、される人の気持ち ＊認知症のお世話について
福祉用具の種類と 選び方・使い方	日常生活に便利な道具を紹介します。身近にあるものを使って自分で作ることもできます。

※メニューはほんの一部です。これらにこだわらず対応させていただきますので、まずは、ご希望のテーマ・内容についてセンターにご相談ください。
※講座にかかる費用は無料です。ただし、教材費の自己負担をお願いすることはあります。

福井県介護実習・普及センター

〒910-8516 福井市光陽2丁目3-22
福井県社会福祉協議会 すこやか長寿課内
TEL 0776-24-0086
FAX 0776-24-0063



寄贈・寄附

誠にありがとうございました。

6月8日
武生信用金庫、福井県信用金庫協会 様
(福井市)
募金
305,000円
使用済み切手
52.8kg (約369,000枚)
書き損じハガキ
70枚
使用済み切手および書き損じハガキは知的障害者の社会啓発運動および自立支援、生きがいづくり支援事業を行っている団体へ送付



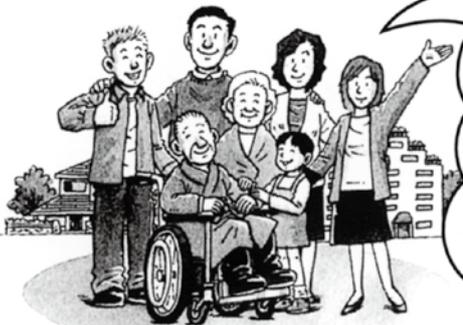
日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

Aプランで、死亡1,400万円、入院7,000円、通院4,100円、賠償責任5億円(限度額)を補償

全国200万人
加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>



特長は

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償!
- 熱中症(日射病・熱射病)による障害も補償!
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償!
- 地震など天災によるケガも補償(天災タイプご加入の場合)

ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

年間	基本タイプ	Aプラン…280円	Bプラン…420円
保険料	天災タイプ	Aプラン…490円	Bプラン…720円

※各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご用意しておりますので、最寄りの社協にお問い合わせください。

お申込み、お問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者

社会福祉法人
全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

(引受幹事保険会社) 日本興亜損害保険株式会社

ボランティア・カフェへようこそ!

福井県ボランティアセンターでは、ボランティアに関する総合情報窓口・集いの場として、アオッサ7階に「ボランティア・カフェ」を開設しています。どなたでも自由にご利用いただけます。お気軽にお立ち寄りください!



ご利用時間

火曜日～金曜日：午前9時～午後9時まで（相談業務は午後7時まで）
土曜日・日曜日：午前9時～午後5時まで
＜月曜日・土日以外の祝日・年末年始は休館日＞

7 使用済み切手仕分、マットの端とし、タオルソーイングなど簡単なボランティア体験ができます。



6 使用済み切手・外国コイン・ベルマーク・書き損じハガキなどを集めています。集めることで、施設や団体の活動資金の一部になります。



5 交流・情報コーナーで、関連図書の閲覧ができます。4人掛けの木机が6客あり、活動グループの会合などにもご利用いただけます。



どんなことができるの？

- 1) ボランティア募集情報の入手
- 2) ボランティアに関する相談・登録
- 3) 福縁ボランティアカードの発行
- 4) ボランティア保険の加入手続き
- 5) ボランティア関連図書の閲覧
- 6) 使用済み切手など収集物の寄贈
- 7) ボランティア活動 など



4 活動前にボランティア活動保険の加入をお勧めしています。土日でも開所していますので、お気軽にご利用いただけます。

1 ボランティア募集情報募集中!です。福井県内のボランティア募集情報を随時集めています。また、ボランティアに関する講座の情報も集めています。まずはご連絡ください。

2 ボランティアをしてみたいけど、どんなことができるかしら?というご相談にお答えしています。ボランティア活動の情報を掲示板やファイルで閲覧することができます。また、メールマガジン配信やボランティア・カフェ通信を発行し、福井県内の情報を発信しています。

3 福縁ボランティアカードを発行しています。活動参加に応じてポイント印を押し、ポイントがたまると県施設常設展の入場券と交換できます。



社会福祉法人 福井県社会福祉協議会
福井県ボランティアセンターアオッサ分室 ボランティア・カフェ

〒910-0858 福井市手寄1丁目4-1 アオッサ7階
TEL/FAX 0776-88-0035 E-mail v-cafe.fukui@royal.ocn.ne.jp
◇福縁ボランティアネット ⇒ <https://www.f-volunet.jp/>

プログラム

1

つながる楽しさを実感しよう！

エコキャップアートコンテスト

捨てればゴミになってしまうペットボトルのキャップを使って、みんなの「つながり」の形をアートにしませんか？

このコンテストで集まったキャップはリサイクルし、その売り上げで海外の子ども達にワクチンを提供するエコキャップ運動に寄付します。

身近なボランティアを通じて、みんなと「つながる」楽しさや喜びを分かち合いましょう！

応募作品は、10月13日（土）に福井県生活学習館にて開催される「ふくい・つながりフォーラム 2012」で展示され、審査・表彰が行われます。



2

夏休みにボランティアしよう！

サマーボランティア体験 2012

福祉施設でのお手伝いや環境保護活動など、豊富な活動メニューの中から興味・関心のあるボランティア活動を選んで体験することができます。この夏、新しいことにチャレンジしてみませんか？

期 間 7月～9月

対象者 小学生高学年以上でボランティア活動に関心のある方

申込先 お住まいの市町
社会福祉協議会
ボランティアセ
ンターまで



推進運動スローガン

つながれ！80万人のボランティアの輪
～県民をつなぐ「おかげさま」と「お互いさま」の輪～

3

ボランティアについて考えよう！

ボランティア作文コンクール

テーマ

- 1) ボランティア活動の経験から得たこと・感じたこと
- 2) ボランティアについての自分の思い・考えていること

児童・生徒をはじめ広く県民から、ボランティアに関する作文（800字以内）を募集します。優秀な作品は、10月13日（土）に福井県生活学習館にて開催される「ふくい・つながりフォーラム 2012」で表彰するとともに福井県ボランティアセンターのホームページで紹介させていただきます。



4

みんなの気持ちをひとつに！

ふくい・つながりフォーラム 2012

期 日 10月13日（土）

会 場 福井県生活学習館

- 1) 式典イベント（福井県社会福祉大会表彰式、ボランティア作文コンクール表彰式等）
- 2) 岩手県陸前高田市 鳥羽 太 市長による講演会
- 3) つながりイベント（エコキャップアートコンテスト等）

楽しいメニューをご用意してお待ちしています！



みなさまの
ご参加を
お待ちしております！！

各プログラムの詳細は、ポスターやチラシ、福井県ボランティアセンターのホームページで随時お知らせします。

福井県ボランティアセンター

HP : <http://volunt.f-shakyo.or.jp/>

TEL : 0776-24-4987 FAX: 0776-24-0041

E-mail : volunt@f-shakyo.or.jp